

『データ画面出力方法について』

(1) 漢方病名履歴スプレッド

漢方病名と漢方病名履歴データ 6 列分を表示する。漢方病名入力ダイアログを表示し編集可能とする。

(2) 病名フィールド

漢方病名履歴スプレッドの表示列とする。漢方病名大分類・漢方病名中分類・漢方病名マスタより検索し、病名履歴フィールドに○が表示されている漢方病名と、その大分類・中分類を表示する。

(3) 病名履歴 1~6 フィールド

漢方病名履歴スプレッドの表示列とする。漢方病名履歴データを、問診ヘッダ・漢方病名履歴データより検索し、該当するセルに「○」を表示する。病名フィールドには漢方病名と、その大分類・中分類を表示する。先頭行には問診日付を表示する。右側を未来、左側を過去とする。検索結果が 6 件に満たない場合は、左列より詰めて表示する。

『漢方病名入力画面について』

指定した日付の問診に、選択した漢方病名を登録する為のダイアログを提供する。操作は登録する漢方病名をクリックし、該当病名・所見にチェックを付ける。チェックが付いている漢方病名を指定日付の問診に登録する。既に漢方病名が登録されている場合は、該当箇所チェックが付いた状態で表示する。先頭の漢方病名大分類リストボックスに初期フォーカスを設定する。キャンセルボタンをクリックすることにより、本ダイアログを終了する。

(画面サンプル)

【ドクター側管理システムの各画面について：病名履歴（ICD-10）画面】

漢方病名履歴情報を表示/編集する為の画面を提供する。操作は指定日を入力後、検索ボタンクリックによる過去 6 件の履歴表示とする。

過去・未来移動ボタンにより履歴情報を移動させて表示する。

漢方一般にタブを分けて表示し、漢方病名入力ダイアログにより履歴データの編集を行うことが出来る。初期表示日はサーバ日付を表示する。病名、病名履歴列はクリアする。

(画面サンプル)

病名	病名履歴					
問診日付	2011/02/07	2011/02/28	2011/03/08	2011/03/29	2011/04/13	2011/05/10
アトピー性皮膚炎	○	○	○	○	○	
下肢関節痛	○	○	○	○	○	
椎間板ヘルニア性腰痛症の初期	○	○	○	○	○	
冷え症	○	○	○	○		

『データ画面出力方法仕様について』

①病名履歴スプレッド

病名と病名履歴データ 6 列分を表示する。

病名入力ダイアログを表示することにより編集可能とする。

②病名フィールド

病名履歴スプレッドの表示列とする。病名・修飾語マスタより検索し、病名履歴フィールドに○が表示されている病名(修飾語含む)を表示する。

ソート順は日付が新しい列に登録されている病名を上に表示する。

同一列内では ICD コード、レセプト電算コード、病名(修飾語含む)の昇順とする。

※病名を追加登録時は、追加病名は病名欄の最後尾に表示

※病名を削除時は、削除病名はそのまま表示
(検索等で画面が再表示されるまで)

③病名履歴 1~6 フィールド

病名履歴スプレッドの表示列とする。

病名履歴データを、問診ヘッダ・病名履歴データより検索し、該当するセルに「○」を表示する。病名フィールドには病名(修飾語含む)を表示する。

先頭行には問診日付を表示する。右側を未来、左側を過去とする。

検索結果が 6 件に満たない場合は、左列より詰めて表示する。

選択列に対して日付セルは色を変え、データセルは太字で表示する。

『ICD-10 病名登録画面について』

指定した日付の問診に、選択した接頭語+病名+接尾語を登録する為のダイアログを提供する。操作は病名入力欄で検索する病名の一部を入力し、Enter キー押下によりリストを表示後、リストより病名を選択する。接頭/接尾語も同様の操作とする。

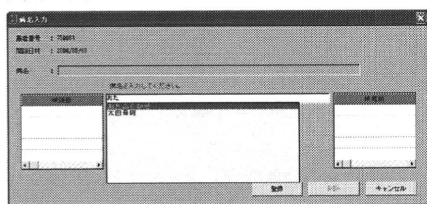
病名欄に接頭語+病名+接尾語が表示される。

登録ボタンをクリックすることにより、選択された病名、修飾語を指定日付の問診に登録する。

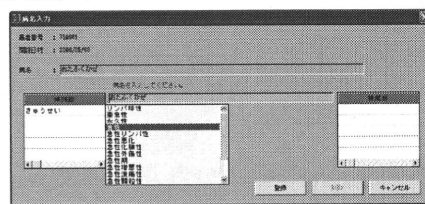
キャンセルボタンをクリックすることにより、本ダイアログを終了する。

(画面サンプル)

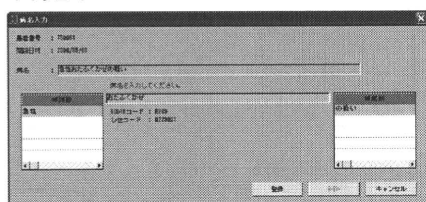
①病名入力



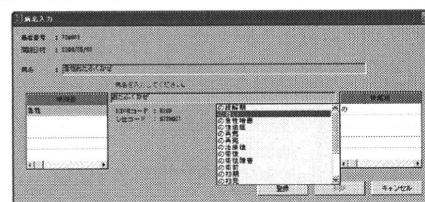
②接頭語入力



④入力完了



③接尾後入力



(1) 接頭語スプレッド

病名履歴データより表示／登録する。

接頭語の一部を入力し、**Enter** キーを押下することにより、接頭語リストを表示後、リストより選択された接頭語が表示される。接頭語確定時は赤、削除・参照時は接頭語を選択不可とし、青で表示する。

スプレッドは5行とし、接頭語が表示されている行は次の列にレセプト電算コードを表示する。

(2) 接尾語リストボックス

接尾後スプレッドに入力されたキーワードで修飾語マスタより全後方一致検索を行い、該当する接尾語をリスト表示する。

接尾語をクリック、又は選択接尾語で **Enter** キー押下により、接尾語スプレッドのカレント行に表示する。通常は非表示とする。

(3) 接尾語スプレッド

病名履歴データより表示／登録する。

接尾語の一部を入力し、**Enter** キーを押下することにより、接尾語リストを表示後、リストより選択された接尾語が表示される。接尾語確定時は赤、削除・参照時は接尾語を選択不可とし、青で表示する。

スプレッドは5行とし、接尾語が表示されている行は次の列にレセプト電算コードを表示する。

(4) 病名フィールド

病名履歴データより表示／登録する。

接頭後＋病名＋接尾語を表示する。入力不可とし、青で表示する。

【ドクター側管理システムの各画面について：薬剤履歴画面】

薬剤履歴情報を表示/編集する為の画面を提供する。操作は指定日を入力後、検索ボタンクリックによる過去6件分の履歴表示。

過去・未来移動ボタンにより履歴情報を移動させて表示する。

薬剤入力ダイアログにより履歴データの編集を行うことが出来る。

指定日はサーバ日付を表示する。薬剤、薬剤履歴列はクリアする。

(画面サンプル)

薬 剤	薬 剤 履 歴					
問 診 日 付	2011/02/07	2011/02/28	2011/03/08	2011/03/28	2011/04/13	2011/05/10
ウチダのアセンヤク末M	○	○	○	○	○	○
ツムラ四君子湯エキス顆粒 (医療用)	○	○	○	○	○	○
ツムラ炙甘草湯エキス顆粒 (医療用)	○	○	○	○	○	○

『データ画面出力方法仕様について』

(1) 薬剤履歴スプレッド

薬剤と薬剤履歴データ6列分を表示する。

薬剤入力ダイアログを表示することにより編集可能とする。

(2) 薬剤フィールド

薬剤履歴スプレッドの表示列とする。

薬剤マスタより検索し、薬剤履歴フィールドに○が表示されている薬剤名を表示する。

ソート順は日付が新しい列に登録されている薬剤を上に表示する。

同一列内では薬剤コードの昇順とする。

(3) 薬剤履歴1~6フィールド

薬剤履歴スプレッドの表示列とする。

履歴データより検索し、該当するセルに「○」を表示する。

薬剤フィールドには薬剤名を表示する。

先頭行には問診日付を表示する。右側を未来、左側を過去とする。

検索結果が6件に満たない場合は、左列より詰めて表示する。

選択列に対して日付セルは色を変え、データセルは太字で表示する。

【ドクター側管理システムの各画面について：VAS項目グラフ画面】

VAS項目グラフと対象問診日の問診内容を表示する。

「←」「→」ボタン押下により、対象問診日付が過去・未来へ移動する。

表示日付の範囲外になる時は、グラフの日付範囲が更新され、グラフも表示日付範囲のVASグラフを表示する。

「VAS項目一覧」ボタン押下により、問診内容欄をVAS項目一覧の表示に切り替える。

「出力」ボタン押下により、「VASグラフ」帳票を印刷する。

初期状態として、問診履歴画面で選択されている問診日付を初期対象問診日にする。

「患者別VASグラフ表示項目データ」テーブルに設定されている、VAS項目をグラフに初期表示する。

(画面サンプル)



『VAS 画面出力方法仕様について』

VAS 項目グラフと表示日付範囲の VAS 項目一覧を表示する。

画面サイズは固定で、サイズ変更は不可とする。

初期表示位置は「オーナーフォームの中央」とする。

表示日付の範囲外になる時は、グラフの日付範囲が更新され、グラフも表示日付範囲の VAS グラフを表示する。VAS グラフ一覧も日付範囲で患者が選択してある VAS 項目一覧を表示する。

(1) 問診内容ボタン

ボタン押下により、VAS 項目一覧欄を問診内容の表示に切り替える。

(2) 「設定」

ボタン押下により、現在の選択 VAS 項目を「患者別 VAS グラフ表示項目データ」テーブルに登録する。

この設定がタッチパネルで VAS グラフ画面を表示する際の初期表示項目となる。

(3) 「出力」

ボタン押下により、「VAS グラフ」帳票を印刷する。

【ドクター側管理システムの各画面について：患者情報検索画面】

患者マスタ情報を一覧表示する為の画面を提供する。

操作は検索条件を入力後、検索ボタンクリックにより、条件に該当する患者情報を表示する。選択ボタンクリックにより、編集タブへ移動し、選択行の患者の編集を行うことが出来る。クリアボタンクリックにより、検索条件・一覧をクリアすることが出来る。

(画面サンプル)

システム(E) 問合せ(Q) マスタ(M)

患者番号 1

氏名 テスト2 太郎2 漢方クリニック
生年月日 昭和48年01月09日 年齢 38歳4ヵ月 性別 男性 NIKKO TARO

検索 新規 クリア 選択 閉じる

患者マスタ

一覧 編集

患者番号 ~ 性別

患者氏名 生年月日

フリガナ 個人情報の同意 有効フラグ 1) 有効

患者番号	患者氏名	フリガナ	性別	生年月日	個人情報	有効フラグ
------	------	------	----	------	------	-------

0 ページ中 0 ページ目 20

『データ画面出力方法仕様について』

検索条件、一覧をクリアした状態で表示する。但し、検索条件の有効フラグは「有効」を選択した状態とする。初期フォーカスは患者番号とする。

画面サイズは固定とし、サイズ変更は不可とする。

メニュー画面の患者情報の下部に表示される位置を固定表示位置とする。

生年月日入力欄の右側にカレンダーボタンを配置する。

【ドクター側管理システムの各画面について：患者情報登録画面】

患者マスタ情報の登録する為の画面を提供する。

問診エントリーシステム及びドクター側管理システムにて使用する、患者情報の登録を可能とし、当該情報を用いて各種情報の入力を行うことが可能となる。

(画面サンプル)

システム(E) 問診(Q) マスタ(M) 漢方クリニック NIKKO TARO

患者番号 1 知7 氏名 テスト2 太郎2 生年月日 昭和48年01月09日 年齢 38歳4ヵ月 性別 男性

新規 削除 登録 閉じる

患者マスタ

一覧 編集

修正

患者番号 1

氏名 姓 テスト2 名 太郎2

フリガナ 姓 テスト2 名 知郎2

生年月日 S 48年 01月 09日

性別 01) 男性

個人情報の同意 1) 同意する

有効フラグ 1) 有効

『データ画面出力方法仕様について』

問診登録及び印刷機能等で使用する患者情報について患者情報の入力を行う。

入力完了後、登録ボタンを押下することで、患者情報の更新が完了する。

(1) 患者番号フィールド (必須項目)

患者番号を表示/入力する。

患者マスタの患者コードフィールドより表示/登録する。

(2) 氏名(姓)フィールド (必須項目)

氏名(姓)を表示/入力する。

患者マスタの苗字フィールドより表示/登録する。

入力文字のフリガナをフリガナ(姓)に自動表示する。

- (3) 氏名 (名) フィールド (必須項目)
氏名 (名) を表示/入力する。
患者マスタの名前フィールドより表示/登録する。
入力文字のフリガナをフリガナ (名) に自動表示する。
- (4) フリガナ (姓) フィールド
フリガナ (姓) を表示/入力する。
患者マスタの苗字フリガナフィールドより表示/登録する。
- (5) フリガナ (名) フィールド
フリガナ (名) を表示/入力する。
患者マスタの名前フリガナフィールドより表示/登録する。
- (6) 生年月日フィールド (運用上必要項目)
生年月日を表示/入力する。
患者マスタの生年月日フィールドより表示/登録する。
表示形式は「yyyy 年 mm 月 dd 日」とする。
※環境設定マスタの指定により、「gggee 年 mm 月 dd 日」形式等も可能。
- (7) 性別コンボボックス
性別をコンボボックスに表示/選択する。
- (8) 個人情報の同意コンボボックス
個人情報の同意をコンボボックスに表示/選択する。
患者マスタの個人情報の同意フィールドを表示/登録する。
- (9) 有効フラグコンボボックス
有効フラグをコンボボックスに表示/選択する。

【ドクター側管理システムの各画面について：薬剤情報検索画面】

薬剤マスタ情報を一覧表示する為の画面を提供する。操作は検索条件を入力後、検索ボタンクリックにより、条件に該当する薬剤情報を表示する。

選択ボタンにより、編集タブへ移動し、選択行の患者の編集を行うことが出来る。

クリアボタンクリックにより、検索条件・一覧をクリアすることが出来る。

(画面サンプル)

システム(E) 問診(Q) マスタ(M)

患者番号 1 氏名 テスト 太郎 漢方クリニック NIKKO TARO
生年月日 昭和48年01月09日 年齢 38歳4ヵ月 性別 男性

検索 新規 クリア 選択 コピー 閉じる

薬剤マスタ

一覧 編集 雑込

薬剤コード 有効期間が本日以降のみ表示
薬剤名称 有効フラグ 1) 有効 ...有効期間外(過去) ...有効期間外(未来)

薬剤コード	薬剤名称	薬剤名称が	処方量	単位	有効期間	有効フラグ
-------	------	-------	-----	----	------	-------

0 ページ中 0 ページ目 20

『データ画面出力方法仕様について』

検索条件、一覧をクリアした状態で表示する。

検索条件の有効期間が本日以降のみ表示はチェックされた状態、有効フラグは「有効」を選択した状態とする。初期フォーカスは薬剤コードとする。

画面サイズは固定とし、サイズ変更は不可とする。

初期表示位置は、メニュー画面の患者情報の下部に表示される位置を固定表示位置とする。

(1) 薬剤コードフィールド

検索条件の薬剤コードを入力する。

入力された薬剤コードで、薬剤マスタの薬剤コードフィールドに該当するレコードを検索する。入力されたキーワードで後方一致検索を行う。

- (2) 薬剤名称フィールド
検索条件の薬剤名称、又はフリガナを入力する。
入力された薬剤名称で、薬剤マスタの名称フィールド、又は名称カナフィールドに該当するレコードを検索する。
入力されたキーワードで前後方一致検索を行う。
- (3) 有効期間が本日以降のみ表示チェックボックス
検索条件の有効期間が本日以降のみ表示をチェックする。
チェック時は薬剤マスタの有効期間終了日が本日以降のレコードを検索する。
未チェック時は全ての薬剤を検索する。
- (4) 有効フラグコンボボックス
検索条件の有効フラグをコンボボックスより選択する。
選択された有効フラグで、薬剤マスタの有効フラグフィールドに該当するレコードを検索する。
- (5) 薬剤一覧スプレッド
このスプレッドは読み取り専用で行選択モードとし、展開された検索結果(検索条件に該当する薬剤情報)を表示する。
本日が有効期間外の行を過去の場合は赤、未来の場合は緑で表示する。
- (6) 薬剤コードフィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの薬剤コードフィールドを表示する。
- (7) 薬剤名称フィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの名称フィールドを表示する。
- (8) 薬剤名称カナフィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの名称カナフィールドを表示する。
- (9) 処方量フィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの処方量(1日分)フィールドを表示する。
- (10) 単位フィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの単位コードフィールドから単位マスタの単位名称フィールドの値を表示する。
- (11) 有効期間フィールド
薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する薬剤マスタの有効期間開始日/終了日を「yyyy/mm/dd ~

yyyy/mm/dd」の形式で表示する。

(12) 有効フラグフィールド

薬剤一覧スプレッドの表示列とする。

検索条件に該当する薬剤マスタの有効フラグフィールドを「有効/無効」で表示する。

【ドクター側管理システムの各画面について：薬剤情報修正画面】

薬剤マスタ情報を編集する為の画面を提供する。操作は薬剤情報を入力後、登録ボタンをクリックにより、薬剤情報の修正を行う。

新規ボタンをクリックにより、薬剤情報の新規入力ができる。薬剤情報入力後、登録ボタンをクリックにより、薬剤情報の新規登録を行う。

コピーボタンをクリックにより、選択薬剤情報が表示され、有効期間を変更後に登録ボタンをクリックにより、薬剤情報のコピー登録を行う。

削除ボタンをクリックにより、表示中の薬剤情報を削除することが出来る。

(画面サンプル)

『データ画面出力方法仕様について』

一覧タブで薬剤情報を選択/コピーした場合、該当する薬剤情報を設定した状態で表示し、画面上部に「修正/コピー」を表示する。

総合薬剤マスタからの組込登録薬剤でない場合、画面上部に「※ユーザー登録薬剤」を表示する。

一覧タブで薬剤情報を選択していない場合、全ての入力欄をクリアした状態で表示し、画面上部に「新規」を表示する。

画面サイズは固定とし、サイズ変更は不可とする。

初期表示位置は、メニュー画面の下部に表示される位置を固定表示位置とする。

(1) 薬剤コードフィールド (必須項目)

薬剤コードを表示/入力する。

薬剤マスタの薬剤コードフィールドより表示/登録する。

新規モード時、既存の薬剤コード以外を入力する。

(2) 有効期間開始日フィールド (必須項目)

有効期間開始日を表示/入力する。

薬剤マスタの有効期間開始日フィールドより表示/登録する。

(3) 有効期間終了日フィールド

有効期間終了日を表示/入力する。

薬剤マスタの有効期間終了日フィールドより表示/登録する。

(4) 薬剤名称フィールド (必須項目)

薬剤名称を表示/入力する。

薬剤マスタの名称フィールドより表示/登録する。

(5) 薬剤名称カナフィールド

薬剤名称カナを表示/入力する。

薬剤マスタの名称カナフィールドより表示/登録する。

(6) 単位コンボボックス (必須項目)

単位をコンボボックスに表示/選択する。

薬剤マスタの単位コードフィールドより、単位マスタの名称フィールドを表示/登録する。

(7) 処方量(1日分)フィールド

処方量(1日分)を表示/入力する。

薬剤マスタの処方量(1日分)フィールドより表示/登録する。

(8) 厚生省コードフィールド

厚生省コードを表示/入力する。

薬剤マスタの薬価基準コードフィールドより表示/登録する。

(9) 有効フラグコンボボックス (必須項目)

有効フラグをコンボボックスに表示/選択する。

薬剤マスタの有効フラグフィールドを表示/登録する。

【ドクター側管理システムの各画面について：薬剤情報組込画面】

総合薬剤マスタを一覧表示し、選択した薬剤を薬剤マスタに組込登録する為の画面を提供する。操作は検索条件を入力後、検索ボタンクリックにより、条件に該当する薬剤情報を表示する。

選択ボタンクリックにより、薬剤を選択(複数可)し登録ボタンクリックにより、組込登録を行うことが出来る。

クリアボタンクリックにより、検索条件・一覧をクリアすることが出来る。

(画面サンプル)

薬剤コード	薬剤名称	薬剤名称か	単位	厚生省コード	ステータス
-------	------	-------	----	--------	-------

『データ画面出力方法仕様について』

検索条件、一覧をクリアした状態で表示する。

登録時の有効期間開始日はサーバ日付を初期表示する。

初期フォーカスは薬剤コードとする。

画面サイズは固定とし、サイズ変更は不可とする。

初期表示位置は、メニュー画面の下部に表示される位置を固定表示位置とする。

- (1) 薬剤コードフィールド
検索条件の薬剤コードを入力する。
入力された薬剤コードで、総合薬剤マスタの医薬品コードフィールドに該当するレコードを検索する。
入力されたキーワードで後方一致検索を行う。
- (2) 薬剤名称フィールド
検索条件の薬剤名称、又はフリガナを入力する。
入力された薬剤名称で、総合薬剤マスタの薬品名称(漢字)フィールド、又は薬品名称カナフィールドに該当するレコードを検索する。
入力されたキーワードで前後方一致検索を行う。
- (3) 登録時の有効期間開始日
登録時の有効期間開始日を入力する。
組込登録時、薬剤マスタの有効期間開始日に入力された値が登録される。
(有効期間終了日は 2099/12/31 固定)
初期表示はサーバ日付とする。
- (4) 総合薬剤一覧スプレッド
このスプレッドは読み取り専用で複数行選択モードとし、展開された検索結果(検索条件に該当する総合薬剤情報)を表示する。
各行は次の色で表示する。
①薬剤マスタ未登録は白
②薬剤マスタ登録済みは緑
③未登録薬剤で選択した行は赤
④本画面表示時に組込登録された行は黄色で表示する。
検索結果の中の薬剤マスタ登録済件数、選択した行の件数をスプレッド上部にラベルで表示する。
- (5) 薬剤コードフィールド
総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。検索条件に該当する総合薬剤マスタの医薬品コードフィールドを表示する。
- (6) 薬剤名称フィールド
総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する総合薬剤マスタの薬品名称(漢字)フィールドを表示する。
- (7) 薬剤名称カナフィールド
総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。
検索条件に該当する総合薬剤マスタの薬品名称カナフィールドを表示する。

(8) 単位フィールド

総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。

検索条件に該当する総合薬剤マスタの単位フィールドを表示する。

(9) 厚生省コードフィールド

総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。

検索条件に該当する総合薬剤マスタの薬価基準コードフィールドを表示する。

(10) ステータスフィールド

総合薬剤一覧スプレッドの表示列とする。

検索条件に該当する総合薬剤マスタから、ステータスにより以下の文字列を赤字で表示する。

【ドクター側管理システムの各画面について：外部マスタ組込画面】

指定ファイルから外部提供マスタを取り込み、本システムのDBに登録する為の画面を提供する。

操作は病名/医薬品の指定ファイルを検索ボタンにより指定し、開始ボタンクリックにより、病名/医薬品の取り込み処理を開始する。

(画面サンプル)

システム(E) 問診(Q) マスタ(M)

患者番号 1 氏名 テスト 太郎 生年月日 昭和48年01月09日 年齢 38歳4ヵ月 性別 男性

漢方クリニック NIKKO TARO

外部提供マスタ情報 分析用データ出力

病名
病名基本ファイル 参照...
例) Q:\病名\main243.txt

修飾語ファイル 参照...
例) Q:\病名\modify243.txt
新規病名(修飾語)の有効期間開始日
2011年 06月 10日

※既存病名(修飾語)と取込病名(修飾語)の情報に変更点がある場合、
既存病名(修飾語)の有効期間を本日で終了とし、
取込病名(修飾語)の有効期間開始日が新たに翌日付で登録されます。

開始

医薬品
DIYAKU.CSV 参照...
例) Q:\医薬品\DIYAKU.CSV

開始

処理の経過状況

クリア

閉じる

『データ画面出力方法仕様について』

ファイル指定欄、処理の経過状況欄をクリアした状態で表示する。
新規病名(修飾語)の有効期間開始日はサーバ日付を初期表示する。
初期フォーカスは病名基本ファイル欄とする。
画面サイズは固定とし、サイズ変更は不可とする。
初期表示位置は、メニュー画面の下部に表示される位置を固定表示位置とする。
取り込み処理中、処理の経過状況欄に取り込み処理の経過が表示される。
又、クリア/中止ボタンクリックにより、取り込み処理を中止することが出来る。
取り込み処理中止後、クリア/中止ボタンクリックにより、処理の経過状況欄をクリアすることが出来る。

【ドクター側管理システムの各画面について：分析用データ出力画面】

対象期間の間診履歴/漢方病名履歴/病名履歴/薬剤履歴データの分析用ファイルを出力する為の画面を提供する。対象期間を、出力先フォルダを指定し、開始ボタンクリックにより、分析用データ出力処理を開始する。

出力処理中、処理の経過状況欄に出力処理の経過が表示される。又、クリア/中止ボタンクリックにより、出力処理を中止することが出来る。

出力処理中止後、クリア/中止ボタンクリックにより、処理の経過状況欄をクリアすることが出来る。

(画面サンプル)

システム(E) 問診(Q) マスタ(M)

患者番号 1 氏名 テスト2 太郎2 漢方クリニック NIKKO TARO
生年月日 昭和40年01月09日 年齢 30歳4ヵ月 性別 男性

外部提供マスタ情報 分析用データ出力

出力条件
対象期間 ~
※開始・終了日が指定されていない場合は全期間対象となります。
終了日が指定されていない場合は開始日以後が対象期間となります。
開始日が指定されていない場合は終了日以降が対象期間となります。

処理の経過状況

『データ画面出力方法仕様について』

対象期間、出力先フォルダ、処理の経過状況欄をクリアした状態で表示する。

初期フォーカスは対象期間開始日欄とする。

画面サイズは固定とし、サイズ変更は不可とする。

初期表示位置は、メニュー画面の下部に表示される位置を固定表示位置とする。

(1) 対象期間開始日フィールド

データ出力対象の開始日を入力する。

省略した場合、対象期間終了日も省略すると、全期間対象

(2) クリアボタン

対象期間開始日をクリアする。

(3) 対象期間終了日フィールド

データ出力対象の開始日を入力する。

(4) クリアボタン

対象期間終了日をクリアする。

(5) 出力先フィールド

分析用データファイル出力フォルダを入力する。

(6) 開始ボタン

分析用データ出力処理を開始し、サーバ上に分析データファイルを出力する。
処理の経過状況を処理の経過状況フィールド、進捗バー、処理件数に表示する。

対象期間開始日/終了日が省略された場合、全期間対象とする。

開始日のみ入力されている場合は、開始日以後が対象。

終了日のみ入力されている場合は終了日以前が対象となる。

対象期間に各履歴が無い場合は各履歴処理時にメッセージ表示するが、処理は続行する。

処理終了後、サーバ上に作成した分析データファイルを ZIP 圧縮し、

ダウンロード確認ダイアログを表示する。

ファイル名は「医療機関コード_年月日時分秒.zip」とする。

(7) 処理の経過状況フィールド

出力処理時、経過状況のログを表示する。

処理の経過状況は本フィールドの下に進捗バー、処理件数でも表示する。

(8) 処理の経過状況フィールド

出力処理時、経過状況のログを表示する。

処理の経過状況は本フィールドの下に進捗バー、処理件数でも表示する。

